

# 同志社大学司書課程・司書教諭課程主催 2014年度図書館見学会および見学記

(日程)

9月25日(木曜日)

11:30 JR西千葉駅北口に集合

12:00-13:30 千葉大学アカデミック・リンク・センター見学

13:30-15:00 移動・昼食

15:00-16:00 アジア経済研究所図書館見学

19:00-21:00 懇親会

「フレックスステイイン飯田橋」に宿泊

9月26日(金曜日)

9:15 ホテルロビー集合

10:00-12:00 国立国会図書館東京本館見学

12:00-14:00 移動・昼食

14:00-15:30 福音館書店見学

15:30-18:30 神田神保町にて自由行動

「フレックスステイイン飯田橋」に宿泊

9月27日(土曜日)

9:30 ホテルロビー集合

10:00-12:00 印刷博物館見学

見学後解散

## 図書館見学記

文学部哲学科 江 藤 由香里

図書館ツアーを通して最も記憶に残っているのは、千葉大学のアカデミック・リンク・センターを訪れたことです。アカデミック・リンク・センターとは同志社で言うところのラーニング・コモンズと図書館が一体になったような施設で、4階建ての建物4棟で構成された広々とした施設です。そこに入ってまず感じたのは開放感でした。学生が主に利用する建物は1階から3階が吹き抜けになっており、ガラス張りの壁からは日光がふんだんに取り入れられていて、図書館特有の圧迫感が全くありませんでした。窓際には机とPCが備え付けられており、外の風景を眺めながら勉強ができるようになっています。特徴的なのは広めに取られた椅子の間隔で、これはわざと間隔を開けておくことで学生が椅子に詰めて座るようになり、スペースの有効活用ができるという工夫だそうです。入口から入ってすぐのところには窪んだステージ状のスペースがあり、床からステージに向かって降りている幅広い階段に人が座って観覧できるようになっています。ここでは週二回、昼休みに催し物が行われており、そのうちの一つは大学の教職員が自分の研究について好きに話すというものだそうです。普段触れない分野の学問の最先端の研究の話が聞けるということで学生にも好評だということでした。図書館の中にはそ

ここで紹介されたことに関連した本が教職員の名前と共に展示されているコーナーがあり（もちろん貸出可能です）、興味があればそこから自分で学びを深めることができるようになっていきます。ラーニング・commonsのように学生が学習支援を受けることができる場所やグループワークができる場所もあります。

この図書館の優れた点はこれらの場所がゆるやかにつながっていることだと私は思います。前述したようにこの図書館は1階から3階が吹き抜けになっているため、先ほどのステージでの催し物や、他の場所で行われているプレゼンテーションの音が他の階にいても聞こえるようになっていきます。そのことによって、これらのイベントを知らなかった人や参加していなかった人でも、ふと聞こえてきた話に興味を惹かれて参加するという状況が生まれます。職員の方のお話によると、広々としたアカデミック・リンクの構造は、このような効果を狙ったものでもあるそうです。

単に利用者が今求める情報を提供するだけでなく、その人が新たに興味関心を持つようなものに出会う機会を作ること、これもまた図書館の役割の一つであると思います。それを実現するための取り組みをなさっている図書館を実際に見学することができたのはとても良い経験でした。司書になってこのような環境で働きたいという思いも一段と高まりました。そういった意味で、私は今回の図書館ツアーは大変有意義なものであったと思います。勉強面以外でも、神保町の古本町に行ったり福音館書店さんの本社を見学させていただいたり、楽しい経験もたくさんできました。来年もぜひ参加したいです。

文学部国文学科 茅野桃華

最初に伺った千葉大学のアカデミック・リンク・センターは、終始同志社大学のラーニング・commonsと比べながら見学しました。アカデミック・リンク・センターは図書館であり、切り分けるのではなく、ラーニング・commons的な要素を含む施設です。N棟のプレゼンテーションスペースは特に印象的で、催されるイベントはもちろん、そのスペース自体が素晴らしかったです。二時間弱の見学でしたが、魅力的な施設で千葉大生を羨ましく思ったのと同時に、同志社のラーニング・commonsの特長を再認識することもできました。

国立国会図書館では、地下書庫まで入らせていただきました。地下から吹き抜けになっている、地下であるのに開放的であったことが印象に残っています。フリーペーパーなど、図書館はこのようなものまで集めるのかと驚くものもあり、国立国会図書館の資料収集に感服しました。東日本大震災の際の図書館の状況や、もし火災が起こった場合についてなど、貴重な話を伺うことができました。今回の東京図書館ツアーで唯一の心残りは、国立国会図書館の利用者カードを作れなかったことなので、個人的に再度訪れようと思います。

上記の他にも、アジア経済研究所図書館、福音館書店、印刷博物館を見学させていただきました。どの施設も素晴らしく、職員の方に丁寧に対応していただき、図書館がより好きになりましたし、勉強になりました。案内してくださった職員の方、ツアーを計画してくださった先生方、ありがとうございました。

経済学部経済学科 林直樹

2014年度の図書館ツアーは全部で一日目には千葉大学アカデミック・リンク、アジア経済研究所図書館、二日目にはNDL本館、福音館書店、三日目には印刷物博物館などを見学しました。

今回の図書館ツアーの中で印象に残っているのは、二日目のNDL東京本館の見学です。国立図書館であり、ありとあらゆる出版物を収集・保存し活用しているNDLは、その仕事の遂

行のためによく考えられた施設であるという風に感じました。特に、地方のアルバイトの求人雑誌や小さなパンフレットでも、将来において何かの研究に役立つかもしれないという観点から保存、収集を行っていることにはとても驚きました。少し話はそれますが、個人的にはNDL本館の最上階にある食堂で食べたカツカレーも記憶に新しいです。配膳用のお盆と見まがうほどの大きさのお皿に山盛りのご飯とあふれ出んばかりのカレー、そしてサクサクのカツの三連コンボは、さすがNDL本館、ご飯の規模も違うと感じさせるものでした。美味しかったです。

またこれは本来のルートではないのですが、福音館書店の見学の後、自由散策の時間を使って神保町を散策したことも印象に残っています。

神保町は言わずと知れた古書のまちであり、日本の出版文化の中心でもあります。総勢百を優に超える古書店がこの周辺に集まる一方で、岩波書店、小学館、集英社など日本の出版業界を支えるような企業もここに本部を置いています。左を向けば古本屋、右を向けば新刊書店と本の虫である私のような人間にとっては夢のような場所でした。時間を忘れて本をあさることが出来、とても充実した時間となりました。